

Hachioji 5th Junior High School

八王子市立第五中学校

# 学校だより



第1学年



第2学年



第3号

令和8年6月5日 (金)

【トピック】

- ・表紙 第76回体育大会
- ・校長室からのメッセージ
- ・授業改善と学力向上
- ・教育活動の様子
- ・不登校をテーマとした保護者サロン
- ・夜間学級の教育活動



第3学年

有志生徒制作 体育大会の学年旗



日本遺産

JAPAN HERITAGE

【教育目標】 心身共に健康 人・地球との共生 未来社会への知性

## 第76回 体育大会



第五中学校  
グループ

第五中学校は、第一小学校と第四小学校とともに、  
小中一貫教育を合同一体で行っています！

あなたのまちも、  
あるけるまち。



- 発行 八王子市立第五中学校
- 住所 八王子市明神町4丁目19-1
- 電話 042-(642)-1633



学校ホームページ  
二次元コード

考えに行き詰って、納得できる答えが浮かばなくなることがあります。そのような時は、通勤電車の中でひたすら考えたり、自宅に帰って夜中に一人でああでもない、こうでもないと考えたりすることにしています。時には一週間考え続けて、いくつかの浮かんだ解やアイデアを図面にして整理し、再考しています。

解やアイデアは時には10個程度浮かんでくるのですが、自分が納得できる解やアイデアはその内の1個程度です。まれに、絶妙な解やアイデアが浮かんで、それが天から降ってきたような錯覚になる時もありますが、きっとこれまでの経験や新たに学んだことが「考えをめぐらす」中で、何かのきっかけとともに結び付き、突然のひらめきに化学変化したものだと思います。一般的には考えている時は脳が疲れるものの、自分が納得できる解やアイデアが見つかると、素直に嬉しかったり、達成感が得られたりします。このような嬉しさや達成感を一度味わうと、難題にぶつかって動きが取れない時でも、「この先にはゴールが必ずあるからとことん考えよう」と自ら課題に向き合うことができます。確かに解やアイデアを思いつくのは、突然のことが多いのですが、それまでにたくさん考えていないと、絶対に出てこないものもあるのです。つまり、何も考えていない人が、課題を解決する解やアイデアを思いつくことはありません。瞬時に思いついたとしても、それは場当たりの発想になり、実行段階で必ず矛盾が出てきます。そのような時は、改善のために一人で考えた後に、自分の考えを仲間と共有し、話し合い、その矛盾を解決するにはどうしたらいいのか、どの様にしたらできるのかを複数の知恵を出し合いより良いものとなるようにしています。

授業や学校行事、学校生活でも知らず知らずのうちに「考える」ということを止めてしまっている場面が見られます。例えば、授業で示された課題を自分でじっくり考えずに答えを出す、班のメンバーと話し合わない状況で「先生、この問題をどうやって解くんですか？」と答えをすぐに聞いている場面が時折見られます。これは自ら考えるということが定着していない証であると思います。

授業では十分に考える時間や話し合う時間があるのに、まったく良い解やアイデアが思いつかないと、考えることも話し合うこともせずに諦めたり投げ出したりしてしまうのはとてももったいないことです。とことん課題と正面から向き合い、限界まで考えることが考えを深める上でとても大切なプロセスだと思います。課題を解決する道は、「とことん、納得がいくまで考える」ことに尽きると思います。

## 授業改善と学力向上

## 「分からないこと」が最も尊重される教室文化 ～分からないこと、困っていることから学びを始める～

【研究テーマ】 生徒の主体性を引き出す授業デザイン ～共有課題とジャンプ課題の適切な設定～



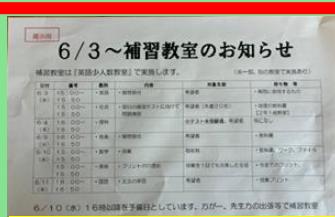
5月13日(水)の校内研究会  
授業改善の振り返り等の実施



英語科  
少人数指導の授業



保健体育科  
教育実習生の授業



5教科・実技教科  
補習も希望者にしています

授業が始まって1か月後に改善点や課題の把握と見直しを校内研究会として実施しました。校内研究会は6月、7月も実施をします。7月は講師をお招きして研究授業を行います。

5月の校内研究と管理職の授業観察等から指摘された課題の改善を進めています。学びの共同体の授業では、生徒自身も分からないことは主体的に学習班内で訊くこと、学習課題が分かる生徒が知識を共有させることができます。過去の一方的に授業を受ける授業では、学習課題が分からない生徒は、そのまま授業を受ける状況でしたが、現在はグループ内で訊き、教え合い、学びを深められる環境です。身に付けた知識を共有するためにアウトプットする力、コミュニケーション力など将来社会人として必要なスキルも身に付けられます。

# 教育活動の様子

## ○給食センター元横山の食育



令和8年5月12日(火)に給食センター元横山の栄養士3名が来校され、1年生に向けて食育の講義をしていただきました。今回は、「朝食の効果を知ろう」というテーマで、朝食を食べることの利点など、成長段階にある中学生にとって、必要不可欠な知識を教えていただきました。八王子市では、定期的に中学生向けに、実情に見合ったテーマで食育を学べる環境が整っています。今回の学びを活かすために、朝食を取るように心がけましょう。

## ○3年生進路集会



令和8年5月14日(木)に3学年総合的な学習の時間で、進路に関する説明を進路指導主任が行いました。3年生はこれから自らの進路決定に向けて、上級学校訪問を主体的に行ったり、入試制度等を理解して様々な書類を準備したり、インターネットで出願したりと盛りだくさんです。6月には第1回進路説明会が予定されていますが、入試に向けた準備はすでに始まっているということをお忘れずに、自分の進路は自分で決められるよう意識を高く持ちましょう。

## ○2年生 職業・課題調べ



令和8年度は2年生では今までの職場体験を見直し、アントレプレナーシップ教育を実施します。職場体験先の事業所の課題を解決するため、企業の経営者の視点、従業員の視点、顧客の視点から事業所の課題解決策を立案・検討します。そして、課題解決策を立案した段階で、職場体験先で考えた課題解決方法が有効であるのかを検証し、再修正していきます。最後は、事業所の経営者の方に、課題解決策を提案するという取り組みを実施します。写真は様々な事業所の課題解決を事前学習として調べ、まとめたものです。

## 【お知らせ】 不登校をテーマとした保護者サロン

5月19日に Home&Schoolのメール配信でもお知らせしましたが、教育委員会では不登校の子どもたちを支援するために、保護者対象の講演会を実施しています。講演の中で小グループに分かれ、参加者の皆さん同士で日頃感じている思いや悩みを語り合う時間も予定しています。どうぞお気軽に御参加ください。

1. 対象 市内在住で小・中学生の保護者
2. 日時 令和8年6月29日(月) 午後2時から午後4時30分
3. 会場 八王子市教育センター 第3研修室
4. 内容 講演「不登校の子どもたちを支えるということ」  
講師 八王子市心理相談員
5. 定員 60名(先着順)
6. 受付開始日 令和8年 6月1日(月)



こちらの二次元コードからお申し込みください。

<https://logofom.jp/form/iapr/1590685>

7. 問合せ 高尾山学園内 教育指導課登校支援担当 電話:663-3216

## 夜間学級の教育活動



令和8年5月11日(月)に初期消火訓練を実施しました。当日は八王子消防署北野出張所から消防士3名に講師としてお越し頂きました。火災を想定した避難訓練を行った後、消火器の使い方、消化方法を体験しました。また、二班に分かれて、消防服の着用体験、消防車(ポンプ車)の役割や構造、消防車の試乗をさせていただきました。火災は初期消火が大切であるということも学びました。災害はいつ、どこで、どのように発災するか予測できませんが、対応訓練をすることにより、被害を最小限に防ぐこともできます。良い学びになりました。



令和8年5月13日(水)に、例年行われている箏の授業を実施しました。和楽器に触れ、独特な譜面を見ながら演奏までできるように地域の講師の先生から指導を受けました。1年生の中には箏を触ったり、演奏したりする経験が初めての生徒もいましたが、授業の最後は、基本を押さえて演奏までできるようになりました。毎年実施している恒例行事の一つですが、日本の伝統・文化を学ぶ貴重な経験です。今期も充実した学びとなりました。

## 今秋公開予定の映画「星の教室」の撮影が本校の夜間学級で行われました。

撮影機材等の搬入  
当日は60名以上の撮影関係者が来ました。

撮影本番に向けてのリハーサル

映画の原作 図書室にも本があります。



令和8年5月17日(日)に、第五中学校の夜間学級の教室を使って、映画の撮影がありました。今秋公開予定の「星の教室」という小説の実写版の映画です。当日は、クランクアップで、映画でも重要な場面の撮影とあって、深夜まで撮影がありました。主演俳優の桜田 ひよりさんが迫真の演技で夜間学級の先生役で授業されていました。撮影中は監督席の横で緊張感漂う撮影を見ることができました。映画では、第五中学校夜間学級の教室や中庭が使われています。撮影後、桜田 ひよりさんと少しお話や写真撮影をさせていただく機会がありましたが、礼儀正しく、気遣いが素晴らしい方でした。映画公開が楽しみです。